

祭神

神位 文德天皇天安元年九月壬寅在加賀國氣多之御子神授
從五位下

祭日

社格

潮津神社

祭神

今按祭神未詳邑傳に往古以來神像あり鹽土翁の像なりと云へど潮津神の名によりて云るなるべく將其神像も朽腐して失たりと云へば考ふべき由なし

祭日 三月十五日九月二十五日

社格

村社

所在 潮津村(江沼郡鹽津村大字潮津)

能美郡八座

並小

狹野神社

祭神

今按祭神未詳里俗八幡宮と云と云り

祭日 五月一日九月十五日

社格 郷社(縣社)

所在 佐野村(能美郡寺井野村大字佐野)
多太神社

祭神

今按明細帳祭神衝杵等乎而留比古命とあるは何の據ありて云るか詳ならず多太八幡と世俗に云傳へたれど縁起に花山帝の御時第三の神殿男山の八幡大神を勧請せし故に多太八幡宮と稱すとあれば八幡は後の勧請にて祭神未詳とあるが如く其祭神の御名をば失ひたりしものと見えた

祭日 四月九月十四十五日

社格 郷社(明細帳に明治十五年一月) (縣社)

所在 小松町(能美郡小松町大字小松上本折町)

石部神社

祭神

今按注進狀祭神未詳一説に大山昨神とあれど宮村館部神社菅生館部神社などあるを思ふに奇日方命にはあらざる

祭日 三月九月十七日

社格 郷社

所在 古府村船見山(江沼郡古河村大字古府)

萍上神社

祭日 八月十五日

社格 郷社

所在 吉竹村 字釜谷(江沼郡淺井村大字吉竹)

策橋神社

祭神

今按注進狀祭神未詳出殿健御名方命八坂刀實命とあり祭神考へがたし

祭日 五月十四日八月二十六七八日

社格 村社(明細帳に郷社)(縣社)

所在 小松町(江沼郡小松町大字濱田)

多伎奈彌神社

祭神

神位 陽成天皇元慶二年七月八日辛丑授加賀國從五位上瀧浪神正五位下醍醐天皇延喜十一年三月二十八日授加賀國瀧浪神從四位下

祭日

社格 (明細帳に瀧波神社とあり村社)

所在 長瀧村(江沼郡山上村大字長瀧)

今按當社大野村八幡社とも長瀧村白山社とも云り大野村は社號帳に本社なる由記せれど徴なし長瀧村は長瀧宮竹と云兩村の界に高澤あり故に邑名とす宮竹は古名宮瀧な

祭神

祭日

社格

所在

今按注進狀に中村の社を從來本社なる由云傳ふれど舊記棟札等もなく古き社號帳にも載ず社地のさま狹少にて式社の體にあらずと云へば決めがたし

幡生神社

祭神 大幡主命

今按明細帳に祭神榜幡千々姫命注進狀に大幡主命とあれど幡生の字によりて思ひよせたるにはあらざる歟幡生は地名にて東大寺要錄長徳四年の諸庄田地目録に加賀國幡生庄とあり此地名は今廢したれど此神社を吳服明神と云ひ土人は加賀絹の守護神なりとて小松町の機織女參詣し機地根とて織端を捧げ絹の艶なる事を祈願すと云によらば榜幡千々姫命を祭れるならんも知るべからず又大幡主命は豐受宮權禰宜補任に大若子命一名大幡主命云云越國荒振凶賊阿彦在天不從皇化取平仁罷止詔天標劍賜遣及即幡主禰行取平返事曰時天皇歡給天大幡主名加給及とあるは垂仁天皇の御世の事と聞ゆこの越國とあるに因らば此國に由あれど今土人の絹織の事を祈るには合はず千々姫命と云ふ説實を得るにちかららん